

平成 29 年度 廃棄物減量等推進員 勉強会開催記録

第一回 平成 29 年 7 月 12 日(水) 千代田学区

◎ごみ減量プロジェクトに挑戦！

事業用のごみ袋や、ふれあい収集について学び、意見交換をしました。

ごみの減量について、なにか地域でできる取り組みはないか検討し、「千代田学区ごみ減量プロジェクト」を発足させました。

学区にお住まいの方皆様で、生ごみの減量に取り組みました。

静岡市全体では、6月と10月のごみ収集量を比較すると、約1%減量していましたが、千代田学区では約7%減量しており、プロジェクトは大成功を収めました。

プロジェクト結果報告会では、今後のプロジェクトについて、地域の皆様への周知方法について意見交換をしました。

(千代田学区ごみ減量プロジェクトについて、詳細は平成 29 年度廃棄物減量等推進員 活動事例をご覧ください。)



第二回 平成 29 年 7 月 27 日(木) 服織西学区・南藁科学区・中藁科地区

◎地域のごみ問題について勉強！

多量の草ごみや、木の枝がごみとして多く出る地域であり、1世帯あたり一度に集積所に出せる可燃ごみは10袋までと決まっています。そのことについて地域への周知の方法や、10袋以上出ていると判断されるため収集されなかった場合の対応などについて意見交換をしました。

資源ごみの収集日に集積所に出される不適正なごみについてのその後の対応方法や、集積所の見回り方法について推進員同士で情報交換をしました。



第三回 平成 29 年 8 月 8 日(火) 庵原地区

◎古紙回収について知識を深める！

古紙のリサイクルについて、「雑がみ」の細かい分類や、そのリサイクル方法について、ごみ減量推進課の職員による詳しい説明を受けました。

可燃ごみに入ってしまった雑紙の量や、その種類を学び、地域の皆様への周知活動に役立つ知識を身につけました。

自治会と協力をしながら推進員活動をするにあたって、地域の現状について推進員同士で情報交換をしました。



第四回 平成 29 年 9 月 13 日(水) 森下学区

◎地図を使って地域の集積所について学ぶ！

事業ごみの適正処理について、現在静岡市でどのように事業者へ周知しているか等を学びました。

収集センター職員が作成した、各自治会・町内会内の集積所の位置や、どのような不適正なごみがどの集積所で見られたかが記載してある地図を、推進員一人一人がその場で確認をしました。

その地図を使いながら、今後の活動の方針や、集積所の管理方法について、収集センター職員と意見交換をしました。



第五回 平成 29 年 10 月 12 日(木) 新通学区

◎静岡市のごみについて勉強！

学区のごみについて、パワーポイントを見ながら、どういった傾向があるのか等を学びました。

静岡市で燃やしたごみが、その後どうやって最終処分場に運ばれるのか、その過程で出る溶融スラグを市がどのように再利用しているのか等を学びました。

スプレー缶の出し方が変更されたことについて、その経緯や、地域の皆様への周知方法について意見交換をしました。

宴会の最初の 30 分と最後の 10 分は食事を楽しみ、食品ロスを減らす「30・10 運動」について学びました。



第六回 平成 29 年 11 月 16 日(木) 駒越地区

◎集積所の管理について推進員同士で情報交換！

自分の地域の集積所で起きた問題や、それに対して立てた看板や、自治会内での周知方法について、情報交換をしました。

新築の集合住宅のごみの集積所に関する問題や、集合住宅に住んでいる住民に対してごみの出し方のマナーを周知する方法等について、収集センター職員等と意見交換をしました。

可燃ごみの収集日にどのような不適正なごみが出るが多いのか、各地域の現状を共有し、その場合どのように対応するのがよいか、推進員同士で情報を交換し、今後の推進員活動に役立つ知識を身につけました。

